

広報

Takamori Town
Public Relations

No.556

平成17年12月5日
2005. December

12

野の花と
風薫る郷から

たかもり



マフといっしょにおでかけ

風まる  キッズ

PUBLIC INFORMATION

[たかもりヴォイス]

町の匠

本田 末保さん(上色見・洗川)



40年以上前から茅葺きの仕事をしている本田末保さんは、これまで県内外数多くの家を手掛け、最近では文化財建造物の葺き替えも行うなど、貴重な文化財を支える名匠として活躍しています。

戦前まで日本のいたるところで見ることができた「茅葺き屋根」ですが、高度経済成長をとげ、新建材による家づくりが主流になると急速に減少していきました。現在では、茅の調達の問題や後継者不足などで茅葺きという伝統技術が失われつつあります。

78歳の今でも屋根に上り、お孫さんたちに茅葺きの技術を継承している本田さん。他にも小・中学校での竹細工継承や南阿蘇休暇村での切干し大根づくり実演・体験会に講師で招かれたりと、大忙しの毎日を送っています。

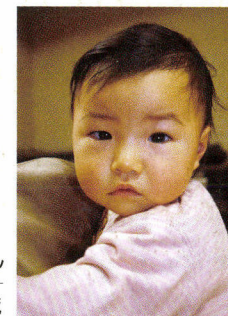
Space of introduction

わが家の

アイドル



みづき
徳丸 美月ちゃん
1歳



泣いたり、笑ったり毎日大忙しです。今の一番の楽しみは歩くことです。

父 徳丸 新悟さん
母 美樹さん
(上色見・洗川)

わが町の

よが女

中村 久美さん

高森・下町 26歳

- お仕事
医療事務をしています。
- 趣味
スノーボード。ライブに行くこと。
- 一番やりたいこと
北海道でスノボ三昧。
- 理想のタイプ
礼儀正しい人、高倉健。



編集後記 An editorial postscript

「町の匠」を1年間掲載しました。素晴らしい作品や匠の技や知恵を数多く拝見しましたが、その陰には、たゆまぬ努力やその作品にかける思い、また次代へ受け継いでいこうという思いがあることを感じました。今後ますますのご活躍を期待します。

さて、早いものでもう師走。1年を締めくくりにふさわしい月になるよう、充実した年末をお過ごしください。



風まる
高森町マスコット

高森町の人口の動き
世帯数/2,708戸(+2)
男/3,595人(-5)/女/3,973人(-5)
総数/7,568人(-10)
(平成17年10月31日現在)

No.556 平成17年12月5日発行

発行/高森町役場 編集/企画財政課
〒869-1602 熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地
TEL0967-62-1111 FAX0967-62-1174
http://www.town.takamori.kumamoto.jp/
印刷/(株)熊本新生社印刷

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています
森林資源保護・自然保護のため、本誌は再生紙を使用しています。

Takamori Calendar

朋…朋遊館

温…高森温泉館

美…芙蓉館

林…林業総合センター

中…高森中央小学校

上…上町集会所

たかもりカレンダー

12月11日～1月14日

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
12/11	12	13	14 どぎゃん会／朋 9:30～	15 役場支払日	16	17
18	19	20 機能訓練あゆみ会／ 温 13:30～	21 高森温泉館休館日 ／温 法律・消費者相談／ 美 13:00～ 土地・建物相談／ 美 13:00～	22 育児・児童相談／ 美 13:00～	23	24
25	26 役場支払日 献血／林 9:30～ 年金相談／林 10:00～15:00	27	28 年末警戒	29 年末警戒	30 年末警戒	31
1/1	2	3 成人式／林 10:00～	4	5	6	7
8 消防出初め式／ 中 9:00～	9	10	11 どぎゃん会／朋 9:30～	12 万年青会／上 10:00～	13 行政相談／美 13:00～	14

11/5

11/6

第5回 すまいるフェスタinたかもり
笑顔あふれる町づくりを目指し

素晴らしい文化作品を鑑賞する笑顔、健康に過ごす笑顔、あらゆる差別をなくし人権が尊重される笑顔、そんな笑顔あふれる町づくりを目指そうと、文化祭、健康づくり推進大会、人権啓発フェスティバルを合同で行う「すまいるフェスタinたかもり」が高森中学校で開催されました。

1日目は舞踊や健康体操、バレエなどが行われ、2日目は人権劇や人権作文などが発表されました。また、写真や生花、盆栽などたくさんのお出展もあり、たいへん充実した2日間でした。



10/30

第28回 高森町民音楽祭 練習の成果を披露



ふれあいコンサート「第28回 高森町民音楽祭」が高森中央小学校体育館で開催されました。

この音楽祭は「自分たちでできることは自分たちで」をモットーに、『出演者＝スタッフ』という精神でスポンサー協力のもと、企画構成から準備、実行、音響、照明、後片付けまで皆の力を合わせてつくり上げています。

今年は10団体、9個人のお出演があり、合唱や器楽などを披露。日頃の練習の成果が十分に発揮された晴れの舞台に、会場から惜しめない拍手が送られていました。

【出演団体・個人紹介】

◎F・F・B◎高森保育園◎阿蘇琴遊会高森教室◎森のこえ◎高森中央小学校◎高森中学校選択音楽合唱団◎高森中学校3年生◎高森幼稚園◎ゲストコーナー（山本ちづる、山内紀子）◎エレクトーン演奏（寺崎薫・本田愛香・高倉優希・大寺由紀・佐伯侑香、高倉翔太・高倉恵美）◎はなしのぶコーラス◎高森中学校吹奏楽部◎司会（岩下昭久・中川弥生）

おくやみもうしあげます

2005年10月受付分(敬称略)

【住所】	【死亡者】	【年齢】	【御遺族】
高森・昭和	西堀 文一	74	西堀 悌子
永野原・大橋木	工藤今朝俊	90	工藤 西男
津留・上町	甲斐 若喜	73	甲斐ヤス子
色見・山鳥	丹 キス	87	丹 秀人
尾下・大畑	岩下ハツヨ	100	岩下 光則

ありがとうございました(敬称略)

■町社会福祉協議会へ

<香典返し>甲斐ヤス子 岩下 光則
工藤 西男

<一般寄付>役場職員バザー 益金

■町体育協会へ

<香典返し>山村 貞子



年末年始の朋遊館の営業

朋遊館は、年末年始も通常どおり営業します。どうぞご利用ください。

○入浴時間
午後4時～午後9時

○休館日
月曜日、木曜日

年末年始のごみ収集

○12月23日(金)・24日(土)
(午前8時30分～午前11時30分)

○12月25日(日)
休み

○12月26日(月)～29(木)
通常業務(午前9時～午後4時)

○12月30日(金)
(午前8時30分～午前11時30分)

○12月31日(土)～1月3日(火)
休み

○1月4日(水)～
通常業務(午前9時～午後4時)

※粗大ごみ戸別収集は、12月22日(木)の受付分までとします。



年末年始のし尿汲み取り

年末のし尿汲み取り業務について

は、12月23日(金)までに受け付けた分までを年内に汲み取りします。

また、年始については1月5日(木)から実施します。お早めの申し込みをお願いします。

■お問い合わせ先
大阿蘇清掃社
TEL 096・279・3220

年末年始の火葬場の業務

年末年始の南阿蘇霊照苑の火葬業務について、1月1日(日)は受付のみで火葬業務をお休みさせていただきます。

■お問い合わせ先
南阿蘇霊照苑
TEL 62・9964

献血

移動献血車が来ますので、皆さまのご協力をよろしくお願いします。

○日時 12月26日(月)
9時30分～11時30分
12時30分～16時

○場所 林業総合センター

■お問い合わせ先
保健福祉課保健推進係
TEL 62・1111 (内線125)

平成18年度

新入学児童ランドセル贈呈

高森町では、保護者の負担軽減と少子化対策の一環として新入学児童ランドセル贈呈を行っています。本年度も小学校新入生にランドセルを配布しますので、各家庭での購入はされないようお願いします。

なお、配付は平成18年3月中旬を予定しています。

■お問い合わせ先
保健福祉課福祉係
TEL 62・1111 (内線121)

広報郵送料のご協力を
お願いします

本誌は毎月3,300部を印刷し、町内配布と共に北海道から沖縄までの高森出身の皆さまにもお送りして「ふるさとの便り」としてご愛読いただいています。

本誌は郵送の場合、1ヶ月に140円かかります。(広報誌代は別)引き続き、現金(小為替など)や、90円以下の少額切手で1年分程度のご寄付をお願い申し上げます。

■お問い合わせ先
企画財政課企画係
TEL 62・1111 (内線212)

休日在宅医 診療は午前9時から午後5時まで

12月11日	南郷谷整形外科医院	TEL 62-3351
12月18日	平田医院	TEL 62-0216
12月23日	馬原内科医院	TEL 62-0646
12月25日	立野病院	TEL 68-0111
1月1日	寺崎医院	TEL 62-0378
1月2日	南郷谷整形外科医院	TEL 62-3351
1月3日	渡辺内科	TEL 67-1777
1月8日	後藤医院	TEL 67-0019
1月9日	立野病院	TEL 68-0111

24時間電話を通して健康をお届けします。

◎12月のテーマ



- 月曜日
今年のインフルエンザ
- 火曜日
手のふるえ
- 水曜日
脳梗塞
- 木曜日
予防歯科について
- 金曜日
お年寄りの皮膚のかゆみ
- 土曜日・日曜日
性教育シリーズ②

第3回 高森湧水トンネルクリスマスファンタジー
ツリーと湧水の幻想的な光の世界



11月12日から高森湧水トンネル公園で「第3回クリスマスファンタジー」が開催されています。

これは、冬のトンネルの有効利用と暖かさを多くの人に知ってもらおうと行われているもので、トンネル内には高さ2.5mのクリスマスツリー51基が展示されています。

クリスマスファンタジーは12月31日まで開催され、12月24日と25日は午後8時まで夜間開放されます。

【クリスマスツリー出展者紹介】(順不同)

あそ和楽グループホーム、第二桜ヶ丘保育園(熊本市)、熊本県ユースホテル協会、特別養護老人ホーム陽の丘荘(南阿蘇村)、高森田楽村、高森石油、福永測量設計、ツツミ薬局、高森中学校、やまびこ樹園、南阿蘇根子岳ファーム、高森東中学校、おやど灯里、富士造園土木、青山製作所熊本工場、早川製作所熊本工場、伊澤製作所熊本工場、高梢、阿蘇森林組合高森支所、そば処慶恩、RKKメディアプランニング(熊本市)、Smile heart(富合町)、JA阿蘇高森中央支所、特別養護老人ホーム梅香苑、たかもり花高原、西部開発(南阿蘇村)、平田電工、高森幼稚園、花朋、高森寮、高森町商工会、南阿蘇訪問介護事業企業組合、奥阿蘇物産館、山見茶屋、阿蘇観光タクシー、南阿蘇鉄道、食膳渡辺、熊本県信用組合高森支店、平田医院、岩下りんどう園、休暇村南阿蘇、高森保育園、草部保育園、野尻・草北・河原保育園、色見保育園、高森東小学校、高森町社会福祉協議会、高森中央小共同調理場、子育てサークル、ひゆがや、観光協会・森の風



10/22 高森中央小学校音楽部 RKK器楽合奏コンクール小学校Cの部で金賞

熊本県立劇場コンサートホールで「RKK器楽合奏コンクール」が開催され、高森中央小学校音楽部が小学校Cの部(15人以下)で金賞を受賞しました。

小学校Cの部には25校が出場。昨年銀賞を受賞した高森中央小学校音楽部は、4・5・6年生13人が

アコーディオン、キーボード、バスマスターで「2つのロンド」を演奏し、見事金賞に輝きました。6年生は「とてもうれしかった」と感想を述べ、4・5年生は「来年は最優秀賞をとりたい」と意気込んでいました。

製造事業所の皆さまへ 統計調査にご協力ください

経済産業省では、工業統計調査を平成17年12月31日現在で実施します。工業統計調査は、製造業を営むすべての事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。

調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学などの研究資料、小・中・高等学校の教材など、広く利用されているところです。

皆さまからご提出いただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

■お問い合わせ先

企画財政課企画係
TEL 62・1111 (内線212)

熊本県医療安全相談窓口

県では、誰もが安心して受けられる医療の実現、また、医療機関における患者へのサービスや医療の質の向上を目指して、医療に関する患者や家族からの相談などを受け付ける「医療安全相談窓口」を次のとおり設置しています。平成16年度では、約

林業・木材産業改善資金 (無利子)貸付

熊本県では、林業・製材業者などの皆さま向けに林業・木材産業改善資金の貸付を行っています。

- 受付時間 月曜日～金曜日 (休日及び年末年始を除く日)
午前9時～午後5時
- 受付体制 医療安全相談員及び地域医療推進課職員
- 相談内容 医療に関する患者やその家族からの相談等



熊本県農業功労者表彰 本田澄子さん(上色見・洗川)

本田澄子さんが平成17年度熊本県農業功労者表彰を受賞しました。

本田さんは、生活改善グループ「やわらぎ会」を設立し、その会長として郷土料理の技術普及、高森田楽料理の継承等の活動を行い、農業や地域振興に大きく貢献しました。

本田さんは「家族の支えや協力で受賞できたと思います」と話していました。

100歳おめでとうございます 渡辺シズエさん(矢津田・赤羽根)

今年6月に満100歳を迎えた渡辺シズエさんを藤本町長が表敬訪問しました。

入所先の梅香苑で内閣総理大臣からの祝状と町からの表彰状、記念品が贈呈され、めでたく100歳の長寿を祝いました。

渡辺さんは明治38年生まれ。明治、大正、昭和、平成と1世紀もの人生を歩いてこられ、現在でもご壮健。ご家族や梅香苑職員もたいへん喜んでいました。

これからも健康で元気にお過ごしください。



10/19

全国大会で大活躍 瀬田博さん(河原・市野尾)

11月5日から岡山県で行われた「第5回全国障害者スポーツ大会～輝いて!おかやま大会～」に熊本県代表として出場した瀬田博さんが、砲丸投げで金メダル、ソフトボール投げで銅メダルに輝きました。

また、瀬田さんは10月28日から山口県で行われた「第28回全国障害者技能競技大会～技能維新!きらら山口2005」でも家具競技で努力賞を受賞しました。



中村孝明さんディナートークショー 鉄人の味を堪能

第2代「和の鉄人」こと中村孝明さんによるディナートークショーが山見茶屋で開催されました。

これは、高森商店会が商店街の活性化につなげようと開催したもので、中元大売出しに当たった30人を招待。参加者は「山海のめぐみ」や「フォアグラ茶碗蒸しフカヒレあんかけ」、「肥後の赤牛変りステーキ」など全11品を、料理の説明を聞きながらおいしそうに食べていました。

10/24

○貸付対象者

林業または木材産業従事者たる個人、法人、またはこれらの者が組織する団体です。

○貸付限度

貸付金の合計の限度額は、個人1,500万円、会社3,000万円、会社以外の団体5,000万円です。

○償還方法

年賦均等払いです。

○償還期間

原則10年(据置3年以内含む)以内です。

■お問い合わせ先

熊本県阿蘇地域振興局林務課
TEL 0967・22・1111

(内線361)

労災保険に未加入の事業主 に対する費用徴収制度が強化されました

労働者を1人でも雇っている事業主は、労災保険の加入手続きを行わなければなりません。

平成17年11月1日から、労災保険未加入の事業主に対する費用徴収制度が強化され、事業主が労災保険の加入手続きを怠っていた期間中に労災事故が発生した場合、遡って保険料を徴収する他に、労災保険から給

付した金額の100%または40%を事業主から徴収することになりました。

■お問い合わせ先

労働保険・労災保険加入手続き
熊本労働局総務部労働保険徴収室
TEL 096・211・1702
費用徴収制度
熊本労働局労働基準部労災補償課
TEL 096・355・3183

年末年始の 高森温泉館の営業

高森温泉館では、12月31日(土)から1月3日(火)まで営業時間を変更します。

○入浴時間

12月31日(土)
午前10時～午後6時
1月1日(日)～1月3日(火)
午前10時～午後8時
1月4日(水)
通常営業(午前10時～午後10時)

※1月1日(日)は午前10時から開運そばの無料サービス(100食)、正午から前原仁田神社獅子舞を披露します。皆さま方のご来館を心よりお待ちしております。

■お問い合わせ先

高森温泉館
TEL 62・2626

葉を落としたけやきは、遠くに見える阿蘇の山々を、その懐に抱きかかえています。此処は高千穂、神々の降臨は、私達の有りようを諭すかの、自然の造形こそが、神を招くに絶対であったと、この地に立てばのしかかってくるかの様に、教えられます。

自然界の造形、そして火を噴く阿蘇の山々を望める。高千穂が高千穂である由縁は、火を噴く阿蘇の山と一体となることによって、その存在はありました。

矢部郷、男成神社は、阿蘇家が浜の館に居を構えていた時代、成人の儀式を執り行っていた場所でもあります。今は、杉の若木が鬱そうと茂り、益々昼なお暗く、周囲を見回すことは困難であります。しかしその位置は、矢部から清和へ至る国道の左手高台、男成神社からは、眼下に阿蘇の山々を望む、阿蘇の山と一体とな

れる地にあるのであります。

高千穂から草部。矢部より男成神社を経て、お池様へ詣でる。きつとそれは、大杉が忽然と迎える村山祖母神社へと下り、もう一方は、高森阿蘇神社へ至ったのであります。う。神社とは、人々が集う目の場所でもありました。

私達の故郷は、古代から中世にいたり、火を噴く信仰の山、阿蘇山の登山口として、その存在を示しました。中世の頃、あったであろう色見・阿蘇家の館。或いは山上を指した、阿蘇家大宮司家一行の宿は存在したのであります。この地を基点として、その後、真言密教徒による修験場として、多くの僧が本町の山河を駆けめぐったのであります。

そのなごりとして、上色見大村には、「寺うど」の地名が残り、敷石が確認できます。その周辺は大村古墳として、

大規模な溝をめぐらした周濠墓があります。古来よりの水源と、草部・野尻地区からの、古道の要衝として、縄文土器も出土する住居跡が散在しています。最近まで、水害等で流失したであろう石灯籠を、河川土手で見かけていました。

高森温泉館の小字地名は、「慶恩」であります。慶恩とは、何時の時代の僧名であったのか、全くその手がかりとて見つけることはできません。しかしこの地に留まり、当時の僧はそうであったのでしよう、多くの知識を授け、葉草を煎じ施す。村人にとって彼は救済者と映り、慕う人々によって、後世「慶恩」の名を頂いたのであります。

今は形を留めるだけになった、旧高森農協上色見支所。そこには国道拡張工事によって、二度内部を真つ赤な「ベングラ」で塗られた、箱式石棺が出土しています。六世紀初頭の円墳であります。副葬品として、頭部の左方に、約五十センチの鉄製剣が埋葬されていきました。僧・慶恩のお墓であると、時代誤差はあるものの、土地の古老は信じ

ています。

色見にあつて、当時の日本社会がそうであったように、祈禱こそ、国家の命運をはかるほどそれは重要な職権でありました。とりわけ阿蘇火口の動向は、噴火爆発こそが、阿蘇家の地位をゆるぎなきものにしていきました。真言密教徒は、阿蘇火口の異変に、修行によって民の苦しみを解くとして、山河を駆けめぐったのであります。

車社会は、時としてその距離感を無くしてしまします。上色見熊野権現が、幾段もの石段を汗ばむようにして上り、大風穴を背景として鎮座

されるに対し、色見熊野権現は、あまりにも容易に、今は門前まで車で行けるのであります。しかしそれは橋が架かり、道路の整備によってなしたのであります。

色見の中心部を流れる水無川は、時として牙をむいた白竜の如き姿をみせます。村の中心部を流れるにはあまりにも深く、そして荒々しき岩盤を越え、人々はこのお宮に参りしたのであります。そしてその色見熊野権現下手に、誰が・何時・何の目的で掘ったのか、明治期に書かれた、色見村史に出てくる洞窟が、延々と続くのであります。



上色見字慶恩の高森温泉館

高森高校公開授業 地域の達人から技を学ぶ

高森高校で公開授業が行われました。これは11月1日の「くまもと教育の日」に合わせ、地域住民に授業を公開し、学校、家庭、地域社会が一体となってお互いの教育力を高めようといわれたもので、1・2年生が竹を使ったかごづくり、タオルを使った小物づくり、旬の食材を使った郷土料理づくりに挑戦。地域の達人から技を学んでいました。



10/28

梅香苑秋祭り 職員が介護劇を熱演

特別養護老人ホーム梅香苑で「秋祭り」が開催されました。

これは、お年寄りと地域や家族との交流を目的に毎年行われているもので、焼きそばなどのバザーコーナーや金魚すくいなどのちびっ子コーナーのほか、今年は職員による介護劇「生きるこつはやおいかん」も行われ、迫真の演技に参加者は真剣に見入っていました。



10/30



11/9

秋季全国火災予防運動 防火パレードで火の用心！

11月9日から15日までは「秋季全国火災予防運動」。初日のこの日は防火パレードが行われ、大字高森地内の各分団（4・5・6・7分団、機動部）幹部と高森幼稚園幼年消防隊が中心市街地一帯をパレード。幼年消防隊が「火遊びはしません」と元気の声で防火を誓い、火の用心を訴えていました。

また、13日には非常呼集訓練も行われ、防火技能の習得にも努めました。



第15回 大阿蘇絵画展 力量のある作品が勢揃い

11月9日から13日まで林業総合センターで大阿蘇絵画展が開催されました。

今年も九州各地から153点の出品があり、入賞15点、入選66点が期間中展示されました。

なお、特選1席には遠坂昇さん（南阿蘇村）の「峠の道（栃木）」、特選2席には上田龍子さん（玉名市）の「向日葵」が選ばれ、本町関係では武田幸之助さん（高森・昭和）の「初夏」が入賞しました。

文芸

POETRY PAGE

ひと回り 境教えに行かず山
 刺客作戦 俺も一と役買わされた
 生中継 まア方言の懐かしさ
 手術室 育てた弟子の握るメス
 やっぱ変人 今年も行かす九段坂
 適当に 女将の粋な領収書
 ひと回り また見送ったトロと海老
 生中継 現場は野次の人だかり
 手術室 さすがのボスもおとなしか
 やっぱ変人 参拝で首絞めよらす
 ひと回り また要らん物ン買いよらす
 手術室 もう駄目ばいて聞こえとる
 刺客作戦 政治倫理も何ンのその
 生中継 花火日和であつてくれ

田上黙公子
 渡辺 雲海
 松山キヨ子
 林 不忘
 馬原 馬笑
 岡本 琴司
 森川そよ子
 佐藤 重信
 佐橋見乱坊
 桐原 白酔
 後藤 愛子
 佐藤多可雄
 後藤 信子
 浦塚 南天

肥後狂句

師走

(阿蘇御神火会)

俳句

(高森菜の花句会)

お詫びと訂正

広報たかもり11月号「俳句」の瀬田博さんの句で「光る波日差しに映えて花芒」と記載しましたが、「光る波日差しに映えて花芒」の誤りでした。お詫びして訂正します。

秋立つと心に肌に凍みし朝
 さわさわとゆれて新葉はこぼるる
 虫めがね手に辞書を繰る秋灯
 柿たわわ陶工の里にぎはへり
 学童と挨拶交し落葉掃く
 炬開きを明日に決めし旅戻り
 日曜の園庭小鳥来てあそぶ
 土産にと孫の集めし柿落葉
 秋冷の一気にくるも阿蘇住まい
 くつろげば犬もくつろぐ秋日和

弥永 ふき
 内田 フミ
 桐原 寿子
 山村ふみ子
 林 久恵
 古庄 泰子
 平田ルリ子
 馬原 要子
 岩下 扶美
 青木千賀子

10月1日から 住民異動 届時の本人確認 を行っています

最近、本人が知らない間に住所の異動届がされるなど虚偽の届出事件が各地で発生しています。

第三者のなりすましによる転入届、転出届等を防止するため、全国的な取り組みとして住民異動届を提出される方について、身分証明書の提示による本人確認を実施しています。

町では、既に行っている戸籍の届出時の本人確認に加えて、住民異動届の届出時においても身分証明書などの提示をお願いしています。皆さんのご協力をお願いします。

○対象となる届出

転入届、転出届、転居届、世帯変更届など、すべての住民異動届

○本人確認の対象者

窓口へ届出書を持ってこられた方(代理人、使者として来られた方も対象になります)

○本人確認の書類

- ・運転免許証、パスポート、住基カードなど、顔写真付きの官公庁発行の証明書
- ・その他町長が適当と認める書類(健康保険証、年金証書、身障手帳など)

※本人確認ができなかった場合でも住民異動届は受け付けますが、異動した本人または世帯全員の異動は世帯主に対し届出を受理した旨の受理通知書(お知らせ)を後日送付します。

■お問い合わせ先

住民生活課戸籍住民係
 Tel 62-1111 (内線 133)



第5回高森町少年柔道大会 南阿蘇少年柔道クラブ優勝

高森中学校体育館で「第5回高森町少年柔道大会」が開催されました。

大会には29チームが参加。南阿蘇少年柔道クラブが見事団体戦優勝を飾りました。

《南阿蘇少年柔道クラブ団体戦メンバー》

津留恒星、興梠隼潤、立山宗一郎、古澤慎吾、津留将太郎、本田雄大

《南阿蘇少年柔道クラブ個人戦3人抜き選手》

桐原航太、三森結、津留恒星



第22回 阿蘇郡市学童駅伝大会 高森中央小学校が二連覇

阿蘇市農村公園あびか周辺で「第22回阿蘇郡市学童駅伝大会」が行われました。

大会には33チームが参加。立山くんと松尾くんが区間賞を獲得するなどして高森中央小学校Aが見事優勝、二連覇を果たしました。

また、高森東ドリームズも6位に入賞しました。

《高森中央小学校Aメンバー》

立山宗一郎、相馬港太、城井大滉、住吉奈津美、松尾基樹、今村美寿瑞、工藤敬大

高森保育園親子給食試食会 会話を楽しみながら給食を

高森保育園で親子給食試食会が開かれました。

これは、日頃子どもたちが保育園でどんな給食を食べているのかを家族の方に知ってもらおうと毎年行われているもので、お父さんお母さんが来るとあって園児たちは大はしゃぎ。「れんこんのはさみ揚げ」「ほうれん草としらすのごま和え」「うずら卵のスープ」「りんご」と栄養バランスのとれた給食を、親子で楽しく会話しながらおいしそうに食べていました。



協会長旗ナイターソフトボール大会 上町カーニバルズが制す

10月21日から31日まで、山村広場で「協会長旗ナイターソフトボール大会」が開催されました。

結果は次のとおりです。

優勝 上町カーニバルズ
 準優勝 南球
 第3位 SHOWAディズニーズ
 敢闘賞 S・55
 最優秀選手賞 篠田和行(上町カーニバルズ)
 優秀選手賞 古澤みさ子(南球)



知っておきたい 税情報



平成17年に新たに消費税課税 事業者(個人事業者)となった方へ

消費税の簡易課税制度を選択するためには、平成17年12月31日までに「簡易課税制度選択届出書」を税務署に提出する必要があります。

※簡易課税制度は、前々年の課税売上高が5,000万円以下の方が選択できます。

※平成18年から課税事業者となられる方についても「簡易課税制度選択届出書」の提出期限は、平成17年12月31日

となっておりますのでご注意ください。

消費税のことで、

お尋ねになりたいことがありましたら阿蘇税務署個人課税部門までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

阿蘇税務署個人課税部門

TEL 0967・22・0553



年末年始の交通事故防止運動

○目的

本運動は、例年、年末年始に交通事故が多発する傾向にあることから、広く県民に交通ルールの遵守と交通安全思想の普及・浸透を図り、県民が自ら進んで交通安全に取り組むことで、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

○期間

12月21日(水)から
1月3日(火)までの14日間

○統一スローガン

『高齢者 あなたのマナーで防ぐ事故』

○運動の重点目標

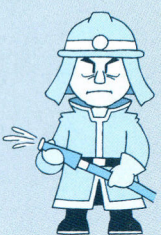
1. 高齢者の交通事故防止
2. 飲酒運転等悪質・危険な運転行為の追放
3. ライトの早め点灯と反射材の活用



こちら 高森警察署です



消防なんでも 南部分署



平成17年度第3回危険物 取扱者試験のご案内

消防法第13条の5第1項の規程に基づき熊本県知事の委任に係る平成17年度第3回危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

○日時 平成18年2月19日(日)

○試験地 熊本市

○試験の種類

乙種第4類危険物取扱者試験

○受験願書の請求先

(財) 消防試験研究センター熊本県支部

・最寄りの消防本部

○受験願書の提出先

(財) 消防試験研究センター熊本県支部

TEL 096・364・7610

〒862・0976

熊本市九品寺1丁目11番4号

(熊本県教育会館内)

○受付期間

平成18年1月10日(火)～1月12日(木)

■お問い合わせ先

(財) 消防試験研究センター熊本県支部

TEL 096・364・5005

TEL 096・364・7610

10/1 阿蘇郡市学童陸上競技記録会 優勝旗4本を奪取

阿蘇市農村公園あびかで「阿蘇郡市学童陸上競技記録会」が開催され、本町からも高森中央小学校と高森東小学校からたくさんの選手が出場しました。

結果は次のとおりです。(優勝のみ掲載)

■高森中央小学校

6年男子400mリレー

(工藤敬大、小林堅太、宇藤直喜、立山宗一郎)

6年女子400mリレー

(住吉奈津美、井上麻衣、矢野彩華、住吉祐美)

4年男子400mリレー

(秋山大誌、緒方零斗、山田脩人、相馬港太)

6年男子200m／宇藤直喜

6年男子800m／立山宗一郎

■高森東小学校

男女混合400mリレー

(西田奈央、大内田奉穂、幸野美咲、安藤龍哉)

6年男子ソフトボール投げ／安藤龍哉

5年女子800m／白石有沙

5年女子走り高跳び／西田奈央



優勝した高森中央小学校リレーメンバー



優勝した高森東小学校リレーメンバー

阿蘇郡市中体連駅伝競走大会 男女とも大健闘

山村広場周辺で「阿蘇郡市中体連駅伝競争大会」が開催され、高森中学校と高森東中学校が出場しました。なお、優勝は男女とも小国中学校でした。

結果は次のとおりです。(10位以内掲載、○は学年)

■男子3位 高森中学校 A

(宇藤康大③、三森隆寛③、阿南良樹①、中山大輔②、後藤太②、山村隆博①)

■男子9位 高森東中学校 A

(森隆志③、二子石諒太③、下田優生③、二子石悠平②、後藤成幸③、本田陽亮①)

■女子3位 高森東中学校 A

(後藤怜美③、野尻亜梨紗②、甲斐里穂③、真井加奈子③、伊藤聖香①)

■女子4位 高森中学校 A

(杉田知栄子②、岩下美樹③、高木智可①、東可南子①、谷川あずみ①)



男子3位の高森中学校 A



女子3位の高森東中学校 A

保健師からあなたへの健康講座

Health Theme

子どもとの愛を育みましょう

近年、高森町の年間出生数は50人前後で推移しています。子どもには健康やかに育ってほしいと願うものです。

めまぐるしい子どもの成長・発達

子どもの成長は著しく、体重は生後3ヶ月で出生時の約2倍、1年で約3倍になります。身長は1年で約1.5倍と急速に成長していきます。そして体の成長と同様に脳の発達も著しく、3年で大人とほぼ同程度の大きさになってきます。生まれてしばらくは、「泣く・飲む・寝る」という生活から、2ヶ月過ぎると笑いかけ、6ヶ月には「いないいないばー」を喜び、1歳半では言葉を話すようになるというようにすさまじく発達していきます。

この頃に最も大切なことは安心感です。泣いたときに抱き上げられ、やさしい顔と温かい声かけが大好きな赤ちゃんは、安心感をベースにいろいろな感情を覚えていきます。

自分自身を好きだと言える子ども

子どもにとって周囲から認められ愛されていると感じることは、自分自

身を大切に思い、価値を認め、思いやりや自主性を確立していくためには大切な要素となっています。

高森町の小・中学生は自分自身のことをどのように思っているのでしょうか。平成13年と17年のアンケートを比べると、「自分自身のことを好き」と答える子どもの割合は減少し、逆に「嫌い」と答える子どもの割合は増加しています。自分自身を認めきれない子どもが増加しているといえます。

「好き」と答えた子どもは、「嫌い」と答えた子どもに比べ、「親とよく話をしている」や「親から愛されていると思う」、「家族との生活が楽しい」と感じている子どもが多く見受けられます。子どもの成長にあわせた周囲の大人のかかわりが大きく影響しています。そして生まれたときからすでにスタートしているのです。

ブックスタート

忙しくあわただしい子育て期、つい「・・・しながら」のかかわりが多くなっています。ゆつくりした気持ちで赤ちゃんとともに絵本と触れ合っ

てみませんか。絵本には豊かな言葉が秘められています。温かな声や言葉、挿し絵により赤ちゃんの感情を豊かにしています。

6〜7ヶ月児相談の場を利用して、読み聞かせボランティアや母子保健推進員により実際絵本を読み聞かせ、触れ合ってもらっています。まだまだ小さい赤ちゃんの目と心にどのように映っているのでしょうか。挿し絵に見入ったり、手を差し伸べたり、なめたりとさまざまな形で興味を示しています。言葉豊かなやりとりにより、自分の気持ちを言葉にかえて表現する力も育んでいきます。

絵本館「木いちご」のご紹介

「わが子にどんな絵本を」と考えているお父さんお母さん、絵本館「木いちご」をのぞいてみませんか。絵本の貸し出しも行っています。

○開館日時

・毎月第1・3水曜日
午後3時30分〜午後5時30分
・毎月第2・4土曜日
午前10時〜正午

※午前11時頃から読み聞かせや紙芝居等を行っています。

○場所 大字高森1610-8

■お問い合わせ先

絵本館「木いちご」
Tel 62-1049

国民年金だより

国民年金保険料控除証明書

年末調整や確定申告の際に社会保険料控除として申告する場合には「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」または領収証書の添付や提示が義務付けられました。

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村民税等の社会保険料控除の対象となります。

平成16年分までの年末調整や確定申告の手続きでは、納付した保険料を証明する書類の添付等は必要ありませんでしたが、所得税法等の一部が改正され、平成17年分の所得の申告から、国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合に、1年間に納付した国民年金保険料の納付を証明する書類の添付等が義務付けられました。

このため、生命保険会社等から送付される控除証明書と同様に、国民年金保険料の納付額を証明する「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書（はがき）」が、社会保険庁から毎年11月上旬に送付されることとなりました。証明内容は、その年の1月から9月末日までに納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込額です。年の途中から国民年金に加入した場合など、その年の10月以降に初めて保険料を納付した方については、翌年2月初旬に同様の証明書が送付されます。

年末調整または確定申告等の手続きの際は必ずこの証明書や領収証書が必要となりますので、申告を行うまで大切に保管してください。

平成17年10月から「裁定請求書の事前送付」が実施されています

平成17年10月から、年金を請求される方の利便性の向上と裁定請求漏れを防ぐため、これから老齢基礎年金及び老齢厚生年金の受給年齢を迎えられる方に、社会保険庁が管理している年金加入記録等をあらかじめ印字した年金の「裁定請求書」や「年金に関するお知らせ（はがき）」を送付することとなりました。

送付対象者

「裁定請求書」または「年金に関するお知らせ（はがき）」を送付する対象となる方は、国民年金、厚生年金保険及び船員保険の加入期間がある方（共済組合等の加入記録のみの方は除きます）です。

● 60 歳になる3か月前のとき

- ・60歳から特別支給の老齢厚生年金受給権が発生する方（厚生年金の期間が1年以上ある方）には、「裁定請求書」が送付されます。
- ・65歳から老齢基礎・老齢厚生年金の受給権が発生する方（国民年金期間のみの方、厚生年金加入期間が12か月未満の方等）には、「年金に関するお知らせ（はがき）」が送付されます。（65歳到達3か月前になると、「裁定請求書」が送付されます）。
- ・社会保険庁が基礎年金番号で管理している年金加入記録のみでは、老齢基礎年金の受給資格（期間要件）が確認できない方には、「年金に関するお知らせ（はがき）」が送付されます。

● 65 歳になる3か月前のとき

- ・65歳に老齢基礎・老齢厚生年金の受給権が発生する方には、「裁定請求書」が送付されます。
- ・60歳から64歳までの間に特別支給の老齢厚生年金を受けられる権利が発生しているにもかかわらず、未だ年金の決定がされていない方には、「裁定請求書」が送付されます。

■お問い合わせ先 ねんきんダイヤル Tel 0570-05-1165

すまいるフェスタ in たがもり

お手軽朝食メニューコンクール

最優秀賞

ライスホットサンド（平盛琴美さんの作品）



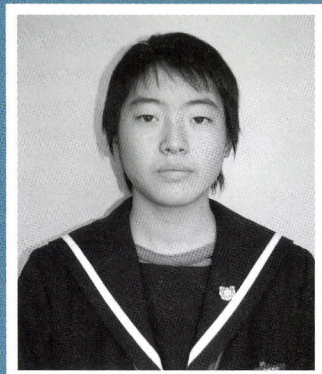
□材料（2人分）

ご飯300g、ちりめんじゃこ大さじ4、サラダ油少々、溶けるチーズ2枚、トマト1/2個、パジル2枚

□作り方

- ①ご飯にちりめんじゃこを混ぜ合わせる。
 - ②ホットサンドメーカーにサラダ油を塗り、①を7ミリくらいの厚さに広げる。
 - ③溶けるチーズ、トマト、パジルを②にのせ、残りの①を広げる。
 - ④5分程度焼いてできあがり。
- ※ツナやハム、かつお節などを入れてもおいしいよ。

「私の心の 中にある問題」



高森東中学校 2年
野尻 亜梨紗さん

私たちの学校は山の中にある人数の少ない学校です。そして、今年から私たちの学校と一つ一つの小さな学校が統合しました。

まず私は、統合するということにとっても抵抗がありました。それは、私たちはもとと人数が本当に少なく私たちのクラスは十人もいないくらいでした。でも、それでもみんなで協力してきてすごく楽しく過ごしていました。それが、統合することで無くなってしまうんじゃないかという不安な気持ちがあったことが一つです。そして、実際統合して今、五ヶ月がたちました。最初はやっぱり生活

リズムも授業の受け方もなにもかも違う所からのスタートで話し相手もいつものメンバーで教室にもきまじい空気が流れている気がしました。そして、自然と前の学校同士で分裂してしまいました。そんな風になったのは、みんなの心の中に向こうの学校の人を受け入れていないところがあつたからだと思います。私の心の中にも「なんかやだなあ」とか「私たちと気が合わないなあ」と勝手に決め付けてしまっている部分がありました。そして、それぞれ自分たちの学校は自分の学校の良さが、相手の学校には相手の学校の良さがあるの

に、それを完全に否定していました。自分の学校のことはばかり押し付けてしまっていました。やっぱりそういうことになってしまったのは新しくできた友だちを今までと同じように接することができていなかったからだと思っています。

すべては統合したことからはじまらず、私の心の中にあつたんだと思います。私がみんなの前で素直になつていけないとみんなに受け入れてもらえないことに気が付きました。今では、前に比べてみたらすごく楽しいし、みんなのこともけっこう分かつてきて毎日が充実している感じがします。そして何よりみんなと一緒いす。そして盛り上がりつつすごく楽しいです。でもまだ全然みんなの知らないこともたくさんあるし、私も全部みんなに知ってもらえていないと思います。自分のすべてを知ってもらつて今まで以上に「本物のクラス」になれるようにできる限りのことをしていきたいです。とは言っても本当の信頼関係とか友情とかそのときだけ頑張つてできるものじゃないと思うし、そういうのは時間をかけてで

きていくものだと思うから私たちのクラスはまだただけど、その第一歩はもう踏み出していると思います。だから、これからまだまだ二歩、三歩とみんなと本物の仲間を見つめるために歩んでいきたいと思っています。

私が統合した最初のときと今の気持ちやこんなに変わったのは、クラスみんなのおかげだと思います。行事があるごとにみんなで笑ったり、注意し合ったり、励まし合ったりしていったことが私をこんな気持ちにさせたんだと思います。

そして、卒業するまでには、たくさんケンカしたり、いっぱい遊んだり、いっしょに勉強したりして同じときを過ごしていきたいです。

前に、統合したことを「イヤダ」と少しでも思ってしまったことを申し訳なかったと思います。今では、こんなにぎやかで自分にとって大切な友だちに会えたことを心から感謝したいと思っています。

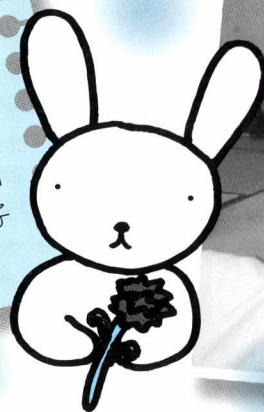
私の心の中は今、どんな風に一日を楽しく過ごすかといっぱいです。これからの十一人での生活が楽しみです。



子育て支援事業

子育てを楽しもう!

子育ての負担を少しでも軽減し、子育てが楽しくなるよう応援するのが「子育て支援事業」。子育てに関する相談を受けたり、子ども同士、親同士のふれあいの場をつくるのが主な役目です。町内では「すこやか子育てのつどい」や「風まるキッズ」が行われており、就学前の子どもを保育する保護者を対象に、読み聞かせや月ごとの取り組みを行っています。家庭の中から外に出て、同じ悩みを持つ仲間たちといっしょに子育てをもっと楽しめましょう。



《すこやか子育てのつどい》

○日 時 毎月第3木曜日 午前10時30分～正午

○場 所 芙蓉館

○参加料 1回200円

※協力していただけるボランティアさんを随時募集しています。

■お問い合わせ先

高森町社会福祉協議会 Tel62-2158

《風まるキッズ》

○日 時 毎月第1水曜日 10時30分～正午

○場 所 林業総合センター

○参加料 無料

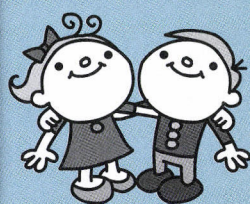
■お問い合わせ先

保健福祉課保健推進係 Tel62-1111 風まる



人権作文紹介

12月4日から10日までは人権週間。「すまいるフェスタ」たかもり」で発表した3人の人権作文を紹介します。一人ひとりが人権意識を高め、偏見や差別のない明るいまちを実現しましょう。



「平和学習を 通して」



高森中央小学校 6年
村上 しおりさん

私が生きてるなあと思うときは、みんなと楽しくしゃべったり、活動したりするときです。こんな楽しいときがずっと続いたらいいなあと思っています。でも、こういう幸せをうばってしまふのが戦争だということを改めて学ぶことができました。

私たちは、六月一日、二日長崎へ修学旅行へ行きました。最初に平和記念像の近くにあるふん水の所に、広い画用紙くらいの大きな石ひがありました。その石ひには、「のどがかわいてたまりませんでした。水には油のようなものが一面にういていました。どうしても水がほしくて、

とうとうその水をのんでしまいました。ふつうは、油がういた水はのまないけど、そこにはもうその水しかないほどひどかったんだなあと感じました。想像して、胸が気持ち悪くなりました。

次に原爆落下中心地に行きました。そこには「黒いとう」が立っていました。にぎやかな町に、こんな黒いとうは、ちよつとちがうなあと感じました。でも、ここに黒いとうがあるのは、原爆が落ちたことをわすれないでほしいという願いからだと思いました。私は、原爆の下にいた人たちはどんなことを思ったのかなあ

と考えながら空を見上げていました。

そして、ひ害の大きさをしつかり見ようと思いながら、原爆資料館に入りました。そこでは、「とけたガラスびん」や「原爆の模型」、「ひさんな写真の数々」、そして「こわれた柱時計」は、十一時二分をさしたまま止まっていた。すべてが原爆のおそろしさを教えてくれていました。私は、たいへんショックを受けました。修学旅行の前まで、学校で原爆や戦争のことを調べてはいたけど、心のどこかで遠い世界のできごとのように思っていました。でも、このように直接見て、遠い世界のできごとではなくて、身近なことなんだと思いました。

最後に、実際に原爆を体験された内田さんのお話を聞きました。頭を釘で強く打ちつけられたような痛みが走り、気がついたときには、友だちはがれきの下じきになっていたそうです。必死に助けようとしたんですけど、その日の夜友だちは亡くなってしまったと泣きそうな表情で話されていたのが今でも心に残っています。私の友だちが目の前で亡く

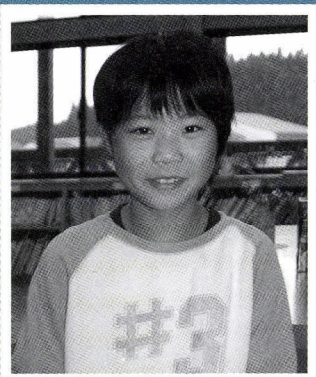
なるなんて、しんじられません。きつと内田さんもそんな気持ちだったと思います。

そして私たちはみんなで「青い空は」という平和の歌を歌いました。その日の天気は晴れていて、「原爆の落ちた八月九日のあの日もこんな天気だったのかなあ」と思いました。そして、戦争は、二度としてはいけないと強く思ったのと同時に平和な世の中が続いてほしいと願いました。

修学旅行から帰ってきて、私は家族の顔を見て、ホッとしました。そして、家族といっしょにご飯を食べながら、戦争のことや、命の大切さ、平和について、ほかにホテルの夜のこと、おみやげのこと、行った先々のこと、私は一人でしゃべっていました。そのとき家族は笑顔で聞いてくれました。このとき、私は、家族といっしょにご飯を食べたり、しゃべったり、友だちと遊んだり、ペットの世話ができることこそ、平和なんだと思いました。

これからも、平和を大切に思ういを持って、生きていきたいです。

「私のクラス」



高森小学校 5年
田上 花香さん

今年の四月、私の学校は草部南部小学校と統合して、新しい学校に生まれ変わりました。私のクラスの友だちは九人から十二人に増えて、とてもにぎやかになったような気がします。

学校が統合するということで、昨年草部南部小学校の人たちとはいろいろな行事で交流してきました。だから、何度か話をしたりして顔や名前を知っていました。でも、いつものクラスになった四月は、何だかきん張っていたように思います。

(はやくみんなと遊べるようになりたいな)と思っていたのですが、私もみんなもはずかしかったのか、遠りよしてあまり話せなかったような気がします。しかし、少しずつきん張ようとしてきたり、「遊びに行こう」とさ

そつたりする人が増えてきました。統合して半年たちましたが、いろいろな面で少しずつ変わってきたように思います。

一つ目は、統合して友だちのいいところが少しずつ見えてきたことです。昨年の交流のときには、たくさんしゃべれなかったの、(おとなしい人なのかなあ)と思っていました。しかし、同じクラスになってみると、いつも笑顔で明るく話しかけてくれるので、(明るくてやさしい人だったんだ)とびっくりしました。学校のことを教え合ったりして仲良くなっていくうちに、クラスのみんなが少しずつ親切になったように感じます。

二つ目は、男子と女子の仲がよくなってきたことです。給食の時間にみんな話をしたり、休み時間に

つしよに遊んだりします。ドッジボールをしている男子に、女子が、「入れてよ」と言うと、気持ちよく「うん、いいよ」と入れてくれます。(十二人みんなが、仲良くなれて良かったなあ)と思います。

仲良しな私のクラスにも、悪い面もあります。それは、友だちに対する言葉づかいや態度です。友だちがかんちがいや失敗をすると、「バカじゃん」と言ってからかったり、ちよつとしたことで口げんかになった、「キモイ」と言って、相手にそれ以上言わせないようにしたりしていることです。そんなときは、おたがいによい気持ちになります。

また、友だちのマネをしたりして、人を傷つけていることがあります。私は、何回かマネをされていやな思いをしたことがあります。そのときは、何も言い返せませんでした。(学校に行きたくないなあ) (学校に行っても楽しくないなあ) と思ったことがあります。でも、友だちが、「気にせん方がいいよ」と言って、はげましてくれました。(はげましてくれる友だちがいるから、私もがんばろう) と思いました。

ある日、かげで、「あの子意地悪よね」とか、「あの子このごろ太ったよね」などと、こそこそ話をしている人がいました。(そんなこと言

わない方がいいのに) と思いました。が、そのときも何も言えませんでした。言ったほうがいいとは分かっているけど、なかなか言えないので気持ちがすっきりしませんでした。

そんなとき、クラスがドッジボールのことでもめて、みんなで話し合いをしました。先生は、もめた人たちの気持ちを聞いたり、原因を確かめたりしました。私は、もめているところを見ていたのに、何も言わなかった自分ですごく腹が立ちました。(このままだと、クラスのみんながいやな思いをするだけだ) と強く思いました。私は、みんながいやな思いをせず、に気持ちよく過ごせるクラスにしたいと思います。そのために、私にできることを考えてみました。

まず、からかわれたり、いやな思いをしている友だちがいたら、「いっしょに遊ぼうよ」と声をかけたいです。私が友だちからはげましてもらったように、はげましてあげたいです。また、口げんかをしたり、悪口を言われたりした友だちがいたら、自分から勇気を出して、「自分がされたらいやでしょ」「そんなことやめた方がいいよ」とやさしく声をかけたいと思います。

もっともっとみんなの心が一つになれるように、楽しくチームワークの良いクラスにしていきたいです。